

Press Release

## 私立中学校・高校 7校の共同学習に 教育機関向けポートフォリオシステム「マナバ フォリオ」を導入

株式会社朝日ネット(東証一部、本社:東京都中央区、代表取締役社長:山本公哉)は、英国の公的な国際文化交流機関ブリティッシュ・カウンシルが主催する「コネクティング・クラスルーム(東アジア)・プロジェクト(以下コネクティング・クラスルーム・プロジェクト)」に、教育機関向けポートフォリオシステム「マナバ フォリオ」を導入いただきました。

コネクティング・クラスルーム・プロジェクトは、英国とアジア 7カ国・地域の中高生が国境を越えて今日のグローバルな課題について共同学習を行うプログラムです。日本からは6グループが参加し、その1グループとして、財団法人日本私学教育研究所がコーディネーターとなり、慶應義塾女子高等学校、麻布中学高等学校、早稲田大学高等学院、鷗友学園女子中学高等学校、渋谷教育学園渋谷中学高等学校、渋谷教育学園幕張中学高等学校、他1校の7校が本プロジェクトに参加しています。日本の7校間での交流と共同学習を支援するシステムとしてポートフォリオシステム「マナバ フォリオ」が採用されました。



### \* ポートフォリオとは?

ポートフォリオとは、個人の学習成果や記録、評価をファイルしたものです。学生がポートフォリオを見直すことで自身の学習を振り返ったり、教員・スタッフがポートフォリオを参照しながら学生を指導する教育方法が近年注目を集めています。

### 教育機関向けポートフォリオシステム「manaba folio(マナバ フォリオ)」

manaba folio(マナバ フォリオ)は、学習の成果をポートフォリオに貯め、学生自身が振り返り、学生同士で評価しあうことを実現する全く新しいシステムです。

「manaba folio(マナバ フォリオ)」の詳細はこちらをご覧ください。

<http://manaba.jp/about-folio.html>

## 「manaba folio(マナバ フォリオ)」導入の背景と目的

### ブリティッシュ・カウンシル「コネクティング・クラスルーム・プロジェクト」とは

英国の公的な国際文化交流機関ブリティッシュ・カウンシルは、多国間での学校間交流活動「コネクティング・クラスルーム・プロジェクト」を通じて、日本と海外の子どもと子ども、学校と学校、地域と地域をつなぎ、未来を担う子供たちの国際的視野を広げ、創造的かつ主体的な行動ができる地球市民の育成を目指しています。2008年より世界各地で展開されており、東アジア地域では日本・韓国・ベトナム・タイ・インドネシア・マレーシア・台湾の7カ国と英国が参加しています。日本では、各地から6グループ、約40校の中等高等学校が参加し、「日本－英国－台湾」、「日本－英国－韓国」の組み合わせで、お互いの地域特性や伝統文化を理解するための共同学習を行っています。主に「環境問題」「スポーツと科学」「明日の世界」などのテーマについて、英語を使用しながら遠隔共同学習を進めていきます。

### マナバ フォリオを使った共同学習

コネクティング・クラスルーム・プロジェクトに参加している東京私学グループの生徒たちは各自であらかじめ設定したテーマの中から興味のある学習トピックを選択します。各学習トピックには、生徒の中からトピックリーダーが置かれ、トピックリーダーが立てた学習計画にもとづいて共同学習を進めていきます。自分が調べたことをマナバ フォリオのポートフォリオスペースに蓄積し、生徒たちはトピックごとに設置したマナバ フォリオのコース内で、調べた内容について意見交換を行います。

また、トピック以外にも日常生活で興味のある話題についてマナバ フォリオ上にコミュニティを作成し、掲示板で身近な話題について議論しています。

プロジェクトに参加している東京私学グループの生徒はマナバ フォリオを使うことにより、互いに勉強した内容を共有して意見交換をするだけでなく、学校を超えて互いのパーソナリティまでを理解することが可能となりました。

### 海外との交流にも活用

今後は7校間での共同学習だけでなく、同じグループ内の英国・台湾の生徒もマナバ フォリオに参加し、テーマについての各国独自の視点を交えながら意見交換を行っていく予定です。国境を越えて同じ課題に興味を持った生徒同士が知り合い学習することで、世界で起きている事象についての多面的な理解や地球市民としての意識形成に役立てていきます。

